

主張をトーンダウンさせ、焦点がぼけた JAPANデビュー 第二回「天皇と憲法」



エントリーと関係ないですが本日午後二時から渋谷ハチ公前で**家族会**・**救う会**の皆さんによる街頭宣伝が行われました。

日本が近代国家の骨格ともいべき憲法を初めて定めてから120年。[大日本帝国憲法](#)は、プロイセン憲法などを参考に「立憲君主制」を採り、当時の世界からも評価されていた。しかし、19世紀帝国主義から第一次世界大戦を経てうねる時代の流れの中で、日本はその運用を誤り、立憲体制を瓦解させてしまう。

一つは、議会の担う政党が党利党略に走って政策や理念を忘れ、軍部の肥大化を助長したことに原因がある。さらには、[天皇](#)を絶対視する思想が先鋭化し、統帥権を盾に取った軍部が政治を主導していったことが挙げられる。

國學院大學には、[憲法](#)起草者の法制官僚井上毅(いのうえ・こわし)が残した6000点を超える資料が保存されている。[ドイツ](#)など諸外国に残された資料も掘り起こし、どのように[大日本帝国憲法](#)が制定されたかを分析。

さらに、政党政治の自滅と天皇絶対主義の国体論の激流を、これまで紹介されていない資料によって描き、[大日本帝国憲法](#)下の政治体制がどのように崩壊したかを検証していく。番組には、京都大学の山室信一教授、東京大学先端科学技術研究センターの御厨貴教授、評論家の立花隆さん、の3人の論客が出演。(NHKのホームページから)



こういう感じで軍部の力が強まったことで日本は無謀な戦争に突入というイメージを表現した

第1部・大日本帝国憲法の誕生

第2部・政党政治の自滅

第3部・「国体論」の暴走

ナレーション 1945年、昭和20年8月、敗戦。

その翌年、11月3日、[日本国憲法](#)が公布されました。

第一條に、[天皇](#)は日本国の象徴であり、この地位は国民の総意に基づく、と定められました。

[日本国憲法](#)制定により、萬世一系の君主から、国民統合の象徴となった[天皇](#)。60年以上が過ぎ、現在の象徴[天皇](#)制は、NHKの世論調査によれば、国民のおよそ八割から支持されています。

評論家・立花隆：

「だから、あくまでも、昭和憲法も第一章は、[天皇](#)なんです、ね。それで、だから、その[天皇](#)條項の中に、天皇の在り方は国民の総意が決めるという、そういう風な、あの條項があるというね。今は、[天皇](#)を憲法で雁字搦めに縛って、あの、これ以外、何も出来ませんっていうね、これ以外の、これの幾つかが、所謂[国事行為](#)、ね。所謂[国事行為](#)で、まあ天皇がハンコ押すものが、これとこれみたいな、そういうのが憲法に決まっているじゃないですか、あれだけなんです。

だけれども、あれは、また、その憲法の改正條項で、改正して、そこのその縛っているもの取られるのを、ちょこちょこと切れれば、また、こう、こう、拡げること出来るわけよ。だから、国民の総意ってのは、そういうことですよ、その時の国民が、[天皇](#)に何と何が出来て、何をやらせない、というね、その縛りは、その時々時代の国民が決めるという、それが、あの、要するに昭和憲法の考える、国民の総意が天皇の権限の、あの、この、なんていうか、可能性の範囲を決めるというね、そういうことだということですよね」



明治天皇と帝国憲法発布の際を描いた絵が大写しされた

京都大学・山室信一教授：

「あの一、[天皇](#)というものはですね、元々その、先程、井上毅や、それからまあ、その伊藤博文、色々それぞれの立場の人が達う、でも同時にまた、それぞれの人が、自分の政治理念をそこに仮託しながらですね、そして、それをまあ、利用してきたことは事実なわけですね。常にその、[天皇](#)というものが、その振る舞いというものを使いながら、まあ、自分の、まあ、ある種の政治的目的を達成してきた、ということはもう、これはもう、疑いの無い事実なわけですから、そういう点で言いますとですね、そういうような可能性というのを、一方で無くしておくことは、必要なことでもあるわけですね。

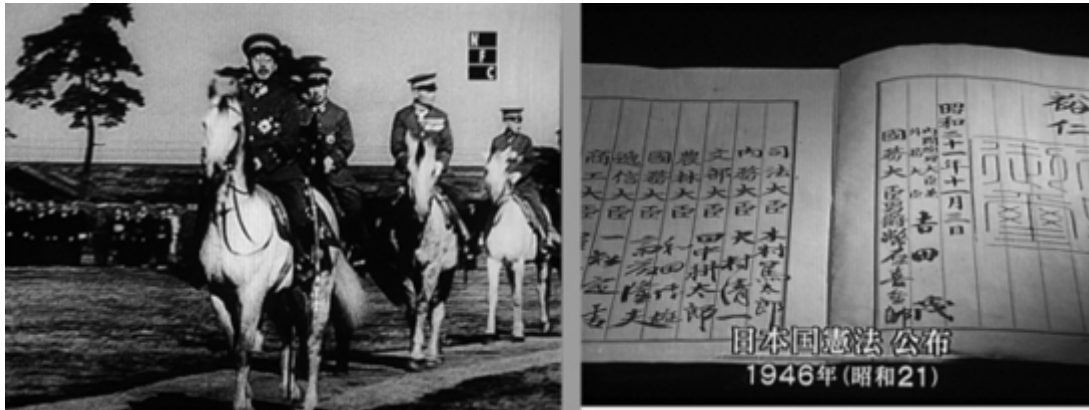
ですから、そういうような囚われないような、[天皇](#)制の在り方、あるいは天皇家の在り方っていうのも、必要だろうと思います。[天皇](#)を利用してですね、何かを決めるってことは、もう出来ないと思いますし、誰もしないとしますが、そういうような形でない、天皇が、じゃあ、どういう存在理由、新たな存在理由を持っているのか、についてはですね、必ずしも実は合意が出来ているわけでもないわけですね」

東京大学・御厨貴教授：

「で、問題はだからやっぱり、僕は、天皇条項だと思っていて、この天皇条項が、やっぱり、その、如何に非政治的に書かれていても、やっぱり政治的な意味を持つ場合があるし、そういう点でいうと、あすこをですね、やっぱり戦、戦前と同じように、神聖にして犯すべからず、あるいは、不磨の大典としておくのは、やっぱり危険であって、そこに一步踏み込む勇氣を持つことね。

天皇っていうのは、だから、その主権在民の立場から、どう考えるかってことを、本格的にやってみること、これね、みんなね、大事だと思いがね、絶対口を噤んで言わないですよ、危ないと思うから、危ないし面倒臭い、ね。だから、ここを考えないと、21世紀の日本の国家像とかいった時に、何で天皇の話が出て来ないってなるわけでしょ、そういう、やっぱり、やっぱり、天皇って、そういう意味では、国の臍ですから、この臍の問題を、つまり日本国憲法においても臍だと思うな、考えないと、もういけないう時期に来ている、と僕は思います」

ナレーション 大日本帝国憲法が出来て120年。日本国憲法が出来て63年。天皇と国家の在り方を、どう決めていくのか、私達の未来への課題です。



// //

NHKらしい普通の「反日左翼番組」に戻り 第一回の台湾統治の猛抗議に影響を受けた？

番組のテキストは「夕刻の備忘録」さんが全部起こしてくれています。またこの番組の再放送は本日の深夜、午前〇時45分からありますので、ご興味のある方は是非どうぞ。

第一回目のあまりの反発の凄さに制作陣も考えて編集し直した、つまり保守派がみても目くら立てて怒るほどのない「普通の反日左翼番組」に仕上げたのではないかと、というのがわたしの第一印象です。

ホームページの予告編の文、三部構成の見出し、そして最後の三人のコメント見ると、大体の流れがつかめると思いますが、正直「何が言いたいのかわからない」という焦点のぼけた内容となりました。

三人のコメントは何を主張したいのか皆さん、理解できますか？。どちらにしても左翼系ですから、平気で「天皇制」という言葉を使いますし、皇室の弱体化を云いたいのだと思いますが、正直言って皇室や天皇陛下について語るには基本的には知識がなさすぎます。

小林よしのりに「天皇」についてのレクチャーを受けてから取材を受けるべきでした。

ひと言で言ったら、日本は明治憲法で天皇・議会・内閣の仕組みを作ったが、軍部の台頭でこれが機能なくなり、軍国主義と右傾化で戦争に突入していった、という左翼定番のストーリーです。

保守派の方なら先刻ご存知のとおり、日本が大東亜戦争に突入していった主な原因は軍部の独走なんかではありません。アメリカ力をはじめ英、仏、蘭が経済封鎖で日本を追い込んだからです。それも最後まで開戦に慎重だったのは天皇陛下と軍部です。一方、煽ったのは当時のマスコミ、それにのせられた日本国民です。

そのことへの言及がありません。あくまで戦争の原因を日本に求めている構図です。

まあ、典型的な自虐史観・東京裁判史観による番組でしたが、私の独断と偏見でいえば、第一回のあまりの反響の凄さにさすがに「やばい！」と感じた幹部と制作陣が必死で編集し直した結果、中途半端な内容となったと感じました。



> 保守派の方なら先刻ご存知のとおり、日本が大東亜戦争に突入していった主な原因は軍部の独走なんかではありません。[アメリカ](#)をはじめ英、仏、蘭が経済封鎖で日本を追い込んだからです。それも最後まで開戦に慎重だったのは天皇陛下と軍部です。一方、煽ったのは当時のマスコミ、それにのせられた日本国民です。

これについては少し疑問に思います。

日露戦争以降、軍部が暴走して身の程も知らずに大陸へと進出して兵站が伸びきってしまったから、ちょっと経済封鎖を受けただけで経済が成り立たなくなり、開戦せざるをえなくなったのではないのでしょうか？身の程知らずのアホな軍部が調子こいてたら、戦争しないと引込みのつかないとこまでできてしまったということですから結局はすべて軍部の責任です。

それに、5.15事件と2.26事件によって、軍部に[モノ](#)を言うと殺されてしまうということが明白な状況でしたから、マスコミも国民も軍部の意向に従わざるをえなかったのでしょう。実際、ちょっとでも反戦的な記事を書いた新聞社がどのような処分を受けたかを見れば明らかなことです。それをマスコミや国民が煽ったと言われるのは、ちょっとムリな理屈ではないかと思えます。



Commented by [花うさぎさん](#)
To hatuyamaさん おはようございます。

2009/05/06 05:49

> 少しずつ国民にも、実態がわかり始めてきたように思います。
> あの連中が、忌むべき[カルト](#)集団である事が。

そうなら嬉しいのですが、何せ情報をその反日メディアに依存している人が多くて、説明するのが骨です。でも確かにマスコミはおかしいと気づきはじめて人は増えていると思います。



Commented by [花うさぎさん](#)
To blog1192さん おはようございます。

2009/05/06 05:57

> 戦争しないと引込みのつかないとこまでできてしまったということですから結局はすべて軍部の責任です。

貴方のような考え方を「自虐史観」の持ち主というのです。もの見事に[GHQ](#)による[WGI](#)
[P](#)の呪縛の中にありますよ。

日本が闘った[連合](#)国最高司令官[ダグラス・マッカーサー](#)は後に、「日本の戦いは自存自衛が目的だった」、「東京裁判は誤りだった」、「[アメリカ](#)は闘う相手を間違えた」といっているのをご存知ですよ。

一度、黒船来航以来の近現代史を勉強し直してはいかがでしょう。



Commented by [16c-b28さん](#)
初めてコメントさせていただきます。

2009/05/06 08:06

この度のNHKスペシャルを視終わって思ったことは、ブログ主様同様、「…で、何が言いたいのか？」でした。

この番組シリーズの趣旨は「歴史から日本の未来を考える」というものらしいが、どこか日本の過去を批判しているかのごとくに感じられました。

もっと具体的に言えば、総じて根底に流れている思想が「[天皇](#)及び天皇制の批判・否定」であるかに感じられたが、もし公器の代表たるNHKがかような思想を持っているのなら断じて許せるものではありません。

第1回では台湾の史実を捏造・歪曲し、今度は[天皇](#)制批判となると、いよいよNHKという局の存在意義こそ問われるべきでしょう。

作為的な番組作りの姿勢には、まったく呆れ返るばかりです。



Commented by **花うさぎさん**
To 16c-b28さん はじめまして。

2009/05/06 08:52

>総じて根底に流れている思想が「[天皇](#)及び天皇制の批判・否定」であるかに感じられたが、もし公器の代表たるNHKがかような思想を持っているとするなら断じて許せるものではありません。

NHKがというよりNHKの報道を支配している幹部が反日なのです。2001年に報道された「女性戦犯法廷」事件を覚えてますか？。

反日極左のVAWW-NETジャパンの不届きな芝居を放映すること自体がとんでもないことで、「天皇裕仁は有罪」の判決が出て観客から歓声、という許し難い不敬の輩です。

>第1回では台湾の史実を捏造・歪曲し、今度は[天皇](#)制批判となると、いよいよNHKという局の存在意義こそ問われるべきでしょう。

御意！。自浄作用はもう期待出来ないから解体せよ！なのです。

第一、日本が嫌いで、日本が世界に誇る皇室文化を憎み貶めるような輩は、日本から出て行って欲しいと思いますね。



Commented by **tropicassoさん**
阿比留さん、こんにちは。

2009/05/06 12:15

連休中なのにお仕事ですか？新聞記者さんは世の習慣とは違うので仕方ありませんね。

[台湾](#)スペシャルに対して相当の抗議が犬HKに寄せられた結果、訳の判らない[天皇](#)特集になったということは、反日報道に対して、厳とした抗議をしなければ少しは効き目があるということですね。

加えて、犬HK視聴料不払い＝月2000円産経購読運動を起せば、更に効果が上がるといふものです。

唯、私が困ったなと思うのは、都会ではなく殆ど左翼・赤系・特殊宗教の新聞しか購読できないでいる地方の方々の思想汚染です。これを何とかしないと日本国民の世論が真っ当にはなりません。



Commented by **tropicassoさん**
花うさぎさん、

2009/05/06 12:17

阿比留さんのブログと間違えました。大変失礼しました。
論調は一緒なので免じて下さい。

では、16日！



Commented by **リップンチェンシンさん**

2009/05/06 15:34

>日本が闘った[連合](#)国最高司令官[ダグラス・マッカーサー](#)は後に、「日本の戦いは自衛自衛が目的だった」、「東京裁判は誤りだった」、「[アメリカ](#)は闘う相手を間違えた」といつている……。

ここに集う方は皆ご存知かと思ってました。[マッカーサー](#)も[朝鮮戦争](#)を戦ってみて気付きました。なにを今更ですが、

http://www004.upp.so-net.ne.jp/teikoku-denmo/no_frame/history/honbun/jiei_sensou.html

2009/05/06 20:29

すべて出ています。

さて、この花うさぎさんのコメント読んでいて思い出したのですが、ちょっと関連すると思われるブログと興味深い本があります。

<http://blog.canpan.info/kamada/archive/599>

去年発売された本なのですが、以来、最も読みたいけど読んでいない本の1位を独走中です。理由はひとつ。高すぎる。ウチの県の図書館にもないんですよ。内容は御覧の通りですが、読まれましたか？

日本もアメリカも民主党は民主党です。サヨクでリベラルで共産主義に寛容で。戦後レジームからの脱却は不可能ではない、そのヒントがこの本にあります(読んでませんが間違いないかと)。

NHKの資料室にはあるのかなあ。



Commented by **花うさぎさん**
To tropicassoさん

2009/05/06 20:34

>阿比留さんのブログと間違えました。大変失礼しました。

いえいえ、阿比留さんと間違えられるとは光栄です(^ ^)。



Commented by **花うさぎさん**
To リップンチェンシンさん こんばんは。

>すべて出ています。

おお～、これは上手くまとまっているではないですか。

>内容は御覧の通りですが、読まれましたか？

まだ読んでません。情報感謝です。近場の図書館にあるかな？

>NHKの資料室にはあるのかなあ。

左翼に都合の悪い本は無いかも知れませんよ(^ ^;)。



Commented by **newspaceさん**
花うさぎ様、初めてコメントさせていただきます。

2009/05/07 02:27

一つ伺いたいことがあります。

先の戦争が自衛戦争であることは当時の日本を取り巻く情勢から私も反対するものではありません。

ただとなると開戦はやむなく、米の国力に及ばない日本が負けたことも責められるものではないということになるのでしょうか？

現在国防、[憲法](#)、反日左翼また在日の問題など先の戦争に起因する多くの問題があると思いますが、どこをまたどこから総括し対処すればいいか。

未来のためにはまず過去から学ばねばと思うのですが私個人では判断が難しくて。



Commented by **花うさぎさん**
To newspaceさん おはようございます。

2009/05/07 06:01

>となると開戦はやむなく、米の国力に及ばない日本が負けたことも責められるものではないということになるのでしょうか？

あの時の状況は、米・英・蘭・仏が石油の禁輸などの経済封鎖をして日本を追いつめたのです。日本が取り得た選択肢は、白人国家の軍門に下って植民地になるか、開戦か？のどちらかでした。

2009/05/08 21:59

日本は植民地化だけは避けたいと、明治維新以降の国家・軍の近代化、富国強兵を急速に進めて、世界の五大強国の仲間入りをしたのですから、当時の国民世論からしても植民地化の選択はあり得なかったと考えます。

同時にこの戦いは、日本の自存自衛だけでなく、植民地主義との戦い、人種差別との戦い、共産主義との戦いでもあったのです。自存自衛と共産主義との戦い(これは[アメリカ](#)が引き継ぎました)には敗れましたが、植民地主義、人種差別との戦いには勝利したのです。この意味は世界史の中で特筆大書されるべきものでしょう。

1955年にインドネシアで開かれたバンドン会議で独立を果たしたアジア・アフリカの国々から日本が賞賛されたのは、このような理由からです。日本は力が及ばなかったから勝てなかっただけで、世界史的に見れば正義は日本にありました。

今でも「戦前、日本は悪いことをした」と云っているのは反日国家の特定アジアと、洗脳された日本人だけです。東京裁判でも東條英機**大将**は、開戦責任は否定、敗戦責任はこれを認めて死刑になりました。

むしろ問題なのは、戦前の大和魂をもった立派な日本人が、戦後は自虐史観に染まった情けない日本人に成り下がったことでしょう。親日国が苛立っているのはむしろその部分だと思えます。

こんなところでいかがでしょう(^ ^)。



Commented by **newspace** さん

花うさぎ様

丁寧な返信ありがとうございます。

私自身自虐史観に染まった、というかそんな自覚すらなく今までの人生の大半を生きてきました。

今の我々日本人は自分の国というものをあやふやに意識した上で自由や平等を考え、望んでいる人が多いように思います。逆に[中国](#)や韓国の方は多少歪んではいますが国というものを強く意識していると感じます。

以前の私のように染まった自覚すらない人からすれば大和魂やら愛国心なんて聞くと「右翼だ」と距離を置きたくなるのが普通でしょうから。

私の周りでも中国人に対して平然と「昔の日本はやっぱり中国や韓国に対して差別的だった。強制連行などを実際していた。」なんてのたまう60過ぎの方がいますからね。



Commented by **花うさぎ** さん

To newspaceさん こんばんは。

2009/05/08 23:17

>私自身自虐史観に染まった、というかそんな自覚すらなく今までの人生の大半を生きてきました。

敗戦後64年、その間ず～とそういう自虐史観の教育をうけ、報道を繰り返されてきたのですから、普通の人は大半がそうだと思います。

>今の我々日本人は自分の国というものをあやふやに意識した上で自由や平等を考え、望んでいる人が多いように思います。

今の日本で自由、平等、人権を常日頃から声高に訴える人には注意が必要です。ほとんどが国から金を引き出し、国家を弱体化させる目的を持っていますよ。こういう人たちは国民の義務や責任については一切、言及しません。

>私の周りでも中国人に対して平然と「昔の日本はやっぱり中国や韓国に対して差別的だった。強制連行などを実際していた。」なんてのたまう60過ぎの方がいますからね。

何か特効薬はないですかね？。小林よしのりの「戦争論を読めば」といってもほとんど読みませんし、そういう人は大体インターネットで情報収集するタイプではないのですよ。

問題意識を持ってネットで検索するようになれば、かなり局面は変わらと思うのですが。



Commented by **しばりょう** さん

花うさぎ様へ

> 保守派の方なら先刻ご存知のとおり、日本が大東亜戦争に突入していった主な原因は軍部の独走なんかではありません。[アメリカ](#)をはじめ英、仏、蘭が経済封鎖で日本を追い込んだからです。それも最後まで開戦に慎重だったのは天皇陛下と軍部です。一方、煽ったのは当時のマスコミ、それにのせられた日本国民です。そのことへの言及がありません。あくまで戦争の原因を日本に求めている構図です。

まあ、典型的な自虐史観・東京裁判史観による番組でしたが、私の独断と偏見でいえば、第一回のあまりの反響の凄さにさすがに「やばい！」と感じた幹部と制作陣が必死で編集し直した結果、中途半端な内容となったと感じました。

↑ もちろん 同感ですが、こんな正論を吐く 政治家がいないのが 残念です。おもいは同じでも、中山元大臣 安倍元総理のように、正論を言うと マスコミがよってたかってつぶす いやな時代です。ソ連 [中国](#)、[東ヨーロッパ](#)と、もうとっくに共産主義は 終焉しているのに、今だ、ぬくぬくと、反省せず 行き続ける輩に 似非評論家 マスコミに 鉄槌を。

せめて 産経新聞の部数 朝日新聞を追い越せないと、正論が通りません。都合のいいときだけ 日本の富士山 古い歴史の残る京都 利用する NHKはじめ マスコミは許せない。

[中国](#) [韓国](#) [北朝鮮](#)が、すばらしのなら、移住して、住んでみてください。口だけなんですね。古館なんて、派遣切りって 正義面しているのが 大変むかつきます。あなた 年棒いくらですかって、

たずねて見たい。高額所得者は 1割でも寄付して、低所得者助けたらどうなんですか。言うだけなら 猿でもできます。



Commented by **花うさぎ** さん

To sibaryou55さん おはようございます。

> もうとっくに共産主義は 終焉しているのに、今だ、ぬくぬくと、反省せず 行き続ける輩に 似非評論家 マスコミに 鉄槌を。

世界で共産主義が生き残った希有なケースですね。自らの考えが共産主義と認識していないシンパが多いのでしょう。

> [中国](#) [韓国](#) [北朝鮮](#)が、すばらしのなら、移住して、住んでみてください。口だけなんですね。

全く同感です。そんなに日本が嫌いなら「とっとと出て行け！」ですよ。

> 古館なんて、派遣切りって 正義面しているのが 大変むかつきます。あなた 年棒いくらですかって、たずねて見たい。

弱者の味方を装って金持ちになると、根が卑しいから身銭を切って「寄付」とか「援助」とは無縁になるみたいですよ。

彼らにとって商売道具にすぎないのです。

2009/05/09 22:08

2009/05/10 07:32